

じいじいはだいくさん

daimazin0328

わたしのなまえは「つむぎ」ちゃん。

むかしつむぎのむらはかごしまのおおしまつむぎとおんなじおかいこさまのきいとをつかっておりものをおっていたの。

むらのおおくのおうちは2かいにおかいこさまのおうちがあって、と一ってもあたたかったの。

でもね、ときどきおかいこさまがおこってかじをおこすんだ。

よなかにしゃりしゃりもぐもぐくわのはをたべてるおかいこさまがおこっちゃうの。

なぜだかわからないけど、むらのひとたちはみんなこわがってた。

かじになるとたいへんなんだよ。

おとなからこどもまで、みんなでおみずをはこんでかけるの。

でもね、かけてもかけてもかじはきえないの。

そのうちにね、かぞくみんなでたのしくくらししていたおうちがなくなっちゃうの。

おはなをつーんとつくわらぶきやねをこがしたにおい。

みんなおおきなこえをだしてわんわんなくの。

おとうさんはただたちつくし、おかあさんはひざをおりまげつちのうえでてをつきなぎつくす。

むらのひともたすけにきてくれるけど、だれにもたすけることはできないの。

かじってね、いちどもえあがるとみずなんてぜんぜんきにならないの。

だからね、かじってと一ってもおそろしいことなの。

みんなのおうちがなくなっちゃうと、おとうさんもおかあさんも、はたらいてもはたらいても、あたらしいおうちをつくるのにおいつかないの。

むらのひとのねがいはかじがおこらないこと。

つむぎのじいじいはせいねんころ、だいくさんになりました。

なんねんもなんねんもしたづみをつんで、やっといちにんまえのだいくさんになったの。

じいじいのゆめはひやくねんもなんびやくねんもながもちするおうちをつくること。

かじにならないがんじょうなおうちをつくるの。

こわいこわいほのおもつかないりっぱなもくざいをつかっておうちをつくるの。

じいじいがりっぱなだいくさんになったから、おうちはもえずにすんだんだ。